

# 生活科



## 生活科の目標

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心を持ち、自分自身や自分の生活について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身につかせ、自立への基礎を養うことをねらいとしています。

## 生活科の9つの内容

○9つの内容で構成されています。

【学校と生活】【家庭と生活】【地域と生活】【公共物や公共施設の利用】【季節の変化と生活】  
【自然や物を使った遊び】【動植物の飼育・栽培】【生活や出来事の交流】【自分の成長】

○9つの内容は、学習指導要領において、2学年（1・2年）まとめて示され、地域や児童の実態に応じた弾力的な指導や多様な活動・体験ができるようになっています。

○どの内容を、どの学年で扱うかなどは、それぞれの学校の地域や実態に応じて異なるため、年間指導計画は、本校で決めています。

### 【学校と生活】

学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達の事がわかり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子やその安全を守っている人々などに関心を持ち、安全な登下校ができるようにする。

### 【家庭と生活】

家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気をつけて生活することができるようにする。

### 【地域と生活】

自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることがわかり、それらに親しみや愛着を持ち、人々と適切に接することや安全に生活することができる。

### 【公共物や公共施設の利用】

公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使う物があることやそれを支えている人々がいることなどがわかり、それらを大切に、安全に気をつけて正しく利用することができるようにする。

### 【季節の変化と生活】

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできる。

### 【自然や物を使った遊び】

身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして遊びを工夫し、みんなで遊びを楽しむことができる。

### 【動植物の飼育・栽培】

動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは、生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみを持ち、大切にすることができるようにする。

### 【生活や出来事の交流】

自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさがわかり、進んで交流することができるようにする。

### 【自分の成長】

自分自身の成長を振り返り、多くの人々の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどがわかり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。

## こんな学習をします

学期	1年	2年
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どきどきわくわく1年生</li> <li>○がっこうだいすき</li> <li>○きれいにさいてね</li> <li>○なつがやってきた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2年生だ うれしいな</li> <li>○どきどき わくわく まちたんけん</li> <li>○生きもの なかよし 大作せん</li> <li>○いきものをかおう</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いきものとなかよし</li> <li>○たのしいあきいっぱい</li> <li>○じぶんでできるよ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○うごく うごく わたしの おもちや</li> <li>○みんなで行こうよ つかおうよ</li> <li>○もつとなかよし まちたんけん</li> <li>○聞いて聞かせて まちの すてき</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ふゆをたのしもう</li> <li>○もうすぐ2ねんせい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あしたへジャンプ</li> </ul>

## 授業の工夫

直接体験をふまえた多様な学習活動を展開していくため、学習の場は教室の中だけにとどまらず、子供の興味・関心に応じ、校内や学校の周り、地域に出て行き学習を展開します。

「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」をバランスよく育てていくことを目指します。

低学年児童の特徴を配慮し、具体的な活動や体験を通して、気づいたり考えたりする授業を実践します。

学校探検や秋祭りなどの学習では、1・2年の合同学習を行い、人との関わりを大切にします。

## 評価について

◇生活科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点で評価します。生活科は、人、社会、自然に関する事柄を覚えればよい教科ではありません。具体的な活動をとおして、良き生活者として求められる資質や能力を育て、それを確かな物にしていく教科です。

### ①「身近な環境や自分についての気付き及び生活上必要な習慣や技能」

活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わりで気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けているかを見ます。

### ②「身近な環境や自分についての思考・判断・表現」

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え表現しているかを見ます。

### ③「主体的に学習に取り組む態度」

身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしようとしていたりしているかを見ます。

## 《生活科の評価の留意点》



◇生活科では、長期的、継続的、多面的、総合的に評価を行い、その子供の変容を捉え、その子のよさや可能性を見取ります。

◇生活科では、「つぶやき」「行動の観察」「発言や作品の分析」「低学年に可能な自己評価（みつけたよカード）」などを手がかりに、子供の良い点や進歩の状況などを評価します。

## 保護者の方へ

生活科は、学習の対象や場が児童の生活圏であり、単元によっては直接保護者の方が関わってくる内容や、家庭で実践することが含まれる内容もあり、ご家庭の協力をいただくことが多い教科です。学校から子供の活動の様子をお知らせすることはもちろんですが、ぜひ、ご家庭での様子もお知らせ下さい。